



五城目消防署員や女性消防団員の皆さんの指導のもと、119番通報の仕方や応急手当への理解を深めました。

5・28日 五小6年生が心肺蘇生法を実践 応急手当教育プロジェクト

5月28日、「応急手当教育プロジェクト」の一環として、五城目消防署の署員と町の女性消防団員の方々が、五城目小学校で119番通報の仕方や心肺蘇生法に関する指導を行いました。

応急手当教育プロジェクトは、町内の小中学生が「命の大切さ」について考えるきっかけを作るとともに、応急手当の重要性を根付かせ、救命率とバイスタンダー（居合わせた人）によるCPR（心肺蘇生法）実施率の向上につなげようと、五城目消防署が本年度から取り組んでいるものです。

参加した6年生たちは、署員から119番通報の仕方や心肺蘇生法の説明を受けた後、心臓マッサージとAED（自動体外式除細動器）の操作方法を学べる教材「あっぱくん」を使いながら、応急手当への理解を深めました。

6・8日 思いやりの心を育てよう 五小で「人権の花」植栽活動

6月8日、五城目小学校で「人権の花」植栽活動が行われました。今回の植栽活動には1年生、5年生、6年生が参加し、それぞれの縦割り班に分かれ、協力し合いながら赤・白・ピンクの3色のペゴニアの苗を植えました。

小玉史男校長は、「命の学び『応急手当教育プロジェクト』で、子どもたちは命の大切さについて体感することができた。『人権の花』の活動と合わせて、子どもたちの思いやりの心を育み、今後ともいじめのない明るい学校づくりを進めていきたい」と、お話ししていました。



それぞれの縦割り班に分かれ、協力し合いながらペゴニアの苗を植えました。

6・10日 池田まき子さんが 地域図書室「わーくる」で講演

6月10日、地域図書室「わーくる」で、オープン記念講演会を行い、児童書ノンフィクション作家の池田まき子さんが講演を行いました。

講演では、自身の書籍に込めた思いや、発行するまでの流れ、取材の方法などをお話ししました。

池田さんは「実際にあった話を掘り下げ、事実にして会話を補足するなど、子どもたちが分かりやすく読めるような工夫を凝らしている。ぜひ本を手に取り、1冊1冊に込めたメッセージを読み取ってほしい」とお話ししていました。

池田さんからは今回、『クニマスは生きていた！』や『なまはげ』などを含む著書6冊を、わーくるに寄贈いただきました。



わーくるのスリースペースで実施した講演会には約30人が参加(上)。講師を務めた池田さんは、自身の著書を手に取りながら、1冊1冊に込めた思いなどをお話ししました(右)。



6・10日 ふるさと五城目会の高澤会長が 聖火リレーのトーチを町に寄贈

6月10日、ふるさと五城目会会長の高澤博彦さんが町役場を訪れ、東京オリンピックの聖火リレートーチを町へ寄贈しました。

高澤さんは、6月8日、9日に本県で行われた東京オリンピックの聖火リレーに出場。2日目となった6月9日、第2区間（八郎瀧町）の9人目の走者として、八郎瀧駅前から同町の大道交差点までの区間を駆け抜け、聖火をつなぎました。

高澤さんは、「聖火リレー当日は、町のシンボルの森山に見守られながら希望の炎をつなぐことができました。このたび寄贈したトーチは町の子どもたちをはじめ、多くの方にご覧になっていただければと思っています。そしてこの先、五城目町からオリンピック選手が誕生することを願っています」と、お話ししていました。

寄贈いただいたトーチは、町役場1階のエレベーター前へ展示しています。



聖火リレーで使用したトーチを町に寄贈した高澤さん(写真)。トーチは町役場1階エレベーター前でご覧になれます。



水中の行方不明者の捜索を想定した「複合検索」に出場し、優勝を果たした菊地副士長。

5・24日 菊地副士長が 消防救助技術県大会で優勝

5月24日、秋田市の県立総合プールで「第49回消防救助技術秋田県大会 水上の部」が行われました。

五城目消防署からは、水中の行方不明者の捜索を想定した種目の「複合検索」に隊員2人が出場。審査の結果、菊地航平副士長（28歳）が優勝を果たしました。

菊地副士長は「日ごろの訓練の成果が出て嬉しい。これから梅雨や台風の時期に入るので、日々訓練に励んでいきたい」と、話していました。



本間信義さんの退任に伴い、6月14日、地方自治法に基づく町代表監査委員に、社会保険労務士、行政書士の小玉睦男さん（67歳・西野）が就任しました。

就任のあいさつでは、「このたび町の代表監査委員を拝命し、とても身の引き締まる思い。町民の皆様のために、一町民としての立場から、精一杯職務につとめていきたい」とお話ししていました。

小玉睦男さんが 代表監査委員に就任



退任のあいさつでは、「町のさらなる発展を願いながら、代表監査委員としての職務に励んできた。これからは一町民として、町に貢献したい」と、お話ししていました。

本間信義さんが 代表監査委員を退任

5月31日、本間信義さん（71歳・帝釈寺）が町代表監査委員を退任されました。本間さんは、平成19年12月に町代表監査委員に就任し、以来13年6か月間にわたり、町の財務事務の執行や経営に係る事業などの監査に尽力されました。